

平成 27 年 5 月 14 日

各 位

会社名 シダックス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 志 太 勤 一
(JASDAQ コード番号 4837)
問合せ先 常務取締役 管理本部長 兼 IR担当
若 狭 正 幸
(TEL. 03-5784-8909)

特別損失（連結・個別）の発生並びに通期連結業績予想の修正及び
通期個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期において、特別損失（連結・個別）を計上するとともに、平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、個別業績において、前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について（連結・個別）

(1) 減損損失の計上（連結）

平成 27 年 3 月期の連結決算において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、連結子会社が所有する主にレストランカラオケ事業及びその他事業の用に供する固定資産について 1,607 百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損の計上（個別）

平成 27 年 3 月期の個別決算において、「金融商品に関する会計基準」に基づき、当社連結子会社であるシダックス・コミュニティー株式会社及びその他連結子会社 2 社の業績、財政の状況等を検討した結果、当社が保有する当該子会社株式について 6,640 百万円の関係会社株式評価損を特別損失に計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損につきましては、連結上は消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

2. 通期連結累計期間連結業績予想値の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	177,000	3,800	3,300	5,500	139.66
実績値 (B)	174,461	647	202	255	6.56
増減額 (B-A)	△2,538	△3,152	△3,097	△5,244	
増減率 (%)	△1.4	△82.9	△93.9	△95.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	191,583	2,943	2,844	521	13.24

3. 通期個別業績値と前期実績値との差異

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前期実績 (A)	9,589	1,460	886	784	19.92
実績値 (B)	12,769	3,064	2,567	△3,636	△93.29
増減額 (B-A)	3,180	1,603	1,681	△4,421	
増減率 (%)	33.2	109.8	189.6	—	

4. 修正及び差異の理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、主にレストランカラオケ事業において、様々なキャンペーン企画等による既存店舗の集客の施策に取り組んでまいりましたが、不採算店舗の整理及び既存店お客様来店数が前期比 93% 程度での推移となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、レストランカラオケ事業において、材料費・労務費の適正化に努めたものの、前述の売上高の減少を補うまでには至らず当初計画を下回る見込となりました。

また、新規事業であるフィットネスクラブ事業及びビューティーケア事業において、先行投資コスト回収の遅れに加え、トータルアウトソーシング事業の社会サービス業務において、地方公共団体から幅広く施設管理・運営を受託し売上高は好調に推移したものの、初期投資コストの影響により利益率が減少、車両運行管理業務において、地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等による契約単価下落の影響があったことにより、当初計画を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、主に当社連結子会社において、繰延税金資産の回収可能性について検討を行った結果、繰延税金資産を一部取り崩すこととし、税金費用が 2,025 百万円増加したことにより当初計画を下回る見込みとなりました。

(2) 個別業績

売上高につきましては、主に当社連結子会社から関係会社株式売却益による配当を実施したことにより前期実績を上回る見込みとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、一部連結子会社に対する当社債権等について、関係会社貸倒引当金繰入額の発生等があったものの、上述の配当収入により前期実績を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、上記「1. 特別損失の計上について (連結・個別) (2) 関係会社株式評価損の計上 (個別)」に記載のとおり、関係会社株式評価損の計上により、前期実績を下回る見込みとなりました。

以上